

デンタルオフィスみなと 手術・処置・麻酔の説明及び同意書

手術名 [部位 _____] []抜歯術 []埋伏歯抜歯術	担当医 _____ 説明日 _____年 ____月 ____日
---------------------------------	-------------------------------------

抜歯（特に親知らず）や嚢胞摘出等の外科処置の際には、手術や麻酔によって下記のような合併症が発生することがあります。

1. 下顎智歯の抜歯等における神経障害

智歯抜歯では骨の中にある神経血管の近くを処理するため、神経障害を生じることがあります。また、舌へ向かう神経も近くにあり、周辺への麻酔や、歯を割ったり骨を砕いたりする際に、障害を受けることがあります。

神経障害の症状はしびれ感（麻痺）です。その確率は、およそ1000人に3～6人程度で、舌のしびれは、およそ1000人に1～2人程度とされております。神経障害の多くは一過性ですが、まれに長く残ることがあります。神経障害が生じた場合には、薬物療法や理学療法などを受けていただくこともあります。

2. 上顎智歯の抜歯等における上顎洞穿孔

歯根が上顎洞に突き出ていることがあるため、抜歯時に上顎洞に穿孔し、術後、鼻に空気や水がもれる事があります。穴が大きい場合には、炎症を予防するため、あらためて閉鎖術を行うこともあります。

3. その他 外科処置に関する一般的な症状について

- (1)治療に対する恐怖や手術時の痛みによって、血圧低下・吐き気・目まいなどのショック症状を起こす事があります。
- (2)局所麻酔薬・消毒薬・鎮痛薬・抗菌薬などさまざまな薬に対して、アレルギーや過敏症を生じる場合があります。
- (3)手術当日は、創部からの後出血が出現することがあります。大量に出血した場合には、連絡してください。
- (4)痛みは鎮痛剤を数日から一週間程度内服することで抑えられる場合がほとんどですが、個人差がかなりあります。
- (5)手術後2～3日間は、創部を中心とした腫れ・発赤・開口障害が出現することがあります。通常、一週間程度で消失します。
- (6)術後に細菌感染を生じた場合、腫れが強くなることもあり、より多くの薬を要することがあります。
- (7)内出血によって皮膚が紫色になることがあります。これは次第に黄色に変色していき、通常2～4週間程度で消えます。
- (8)手術した部位近くの歯の歯根が露出した場合、しみたり痛くなったりすることがあります。歯にかぶせた物がとれてしまうこともあります。
- (9)その他、気腫・歯根破折・歯根迷入・顎関節症など。

当日は十分に体調を整え、少しでもご心配なことがあれば、担当医にお申し出ください。上記のような合併症やその他の不測の事態に対しては、迅速適切に処置いたします。

私は上記の説明を受け、十分に理解いたしましたので、今回の治療を受けることに同意いたします。

デンタルオフィスみなと 院長 殿 _____年 ____月 ____日

患者さんお名前 _____ (自署)

ご家族等お名前 _____ (自署)